

団長の稽古日記

「感謝の1年」

須藤あゆみ

3月になりましたね。

山形では、相変わらず雪が降ってぐずぐずな天気が続いています。

3月というと、個人的に1年の総括の月のように感じます。思い返すとこの1年間は、自分でも信じられない事ばかりやっていて、かけがえの無い日々だったなと感じます。

ちなみに一年前の今頃の私は、劇団ふあんハウスの存在をまだ知りません。

友達はあるのか？とか、ぼっち大学生になったらお弁当はどこで食べようか？そんな事ばかり考えていました。

しかしそんな心配とは裏腹に、この1年で色んな人に出会う事が出来ました。

劇団ふあんハウスの皆さんは勿論、大学の友達も素敵な方々に巡り会えました。

まず、山形からやって来てるというにも関わらず、受け入れてくださった、団長を始め劇団ふあんハウスの皆さんには感謝しかありません。

全部が全部楽しかったわけでは無いし、辛くてもう駄目かもしれないと思った事が無いと言えば嘘になります。それでもここまで続けられたのは、劇団ふあんハウスの皆さんの暖かいサポートのお陰だと感じました。

ありがとうございます。

それから、大学の素敵な友達も出来ました。

大抵眠い、お腹空いた等、しようもない事しか言っていないのに、いつも楽しく話してくれる友達には感謝しかありません。ありがとうございます！

また小中高の卒業してもなお、仲良くしてくれる友達にも、感謝の気持ちでいっぱいです。(また声掛けて貰えたら嬉しい…)。

そしてやはり一番は、両親や祖父母、店のおばちゃん(私にとって第①のおばあちゃんのような人です)が、生活も、精神的、体力的な面においても、陰で沢山支えて下さったからこそ、この素敵な一年間を送る事が出来ました。

本当にありがとうございます。

なんか劇団ふあんハウスを卒業するみたいなトーンで話を書いてしまいましたが、まだまだお別れする気はありません！

このまままた来年も頑張っていきます。

これからも末永くよろしくお願ひします(*,,*)